

TBS「水曜ノンフィクション」の舞台裏へ行ってきました！

先日ご案内いたしました、1月28日（水）21：00～、北村がTBS「水曜ノンフィクション」に生出演いたしました。

テレビ局に同行したブレインの神野がその一部始終をレポートします！

何百人という聴講者のいるセミナーでも、テレビの収録でも緊張しないあの北村が、今回は37.6度の熱を出すほど朝から緊張していました。

19時半にTBSの迎えの車が来て、
20時にTBSに入りました。
TBSに入ると・・・まずは記念写真をパチリ。
先生、本当に緊張してますか？

楽屋に案内されると、
なんと えなりかずきさんと同室でした！
まずは、プロによるメイクとブローで
身だしなみを整えます。



メイクばっちりでご満悦のご様子

準備万端となったところで、プロデューサーと最終打ち合わせです。

打ち合わせと言っても、「ここではこのような流れになりますので、北村先生はそこで何か一言お願いします」くらいの打ち合わせです。

さらに、「〇〇というコメントはしないでください」という禁句も。

素人の私が聞いていると「え？これだけ？」とびっくりするほどの打ち合わせでした。

本番5分前、いよいよスタジオ入りで緊張はピークに。

そして、本番が始まりました。

見ているこちらはとてもドキドキしていたのですが、本番が始まると、緊張などどこ吹く風の北村は、普段どおりに話していましたね。

VTRやCMに入るたび、プロデューサーから「これについて補足してください」「時間が押しています」「えなり君がもっと話すようにしてください」など指示が入り、生放送の難しさがひしひしと感じ取れました。

テレビを見ているとそれほど感じませんが、実際にスタジオが写っている時間はとても短く、28日の放送ではたった18分だったそうです。それでも今までの「水曜ノンフィクション」の中では一番長かったようです。

番組は、「年金が足りない」という話から、複雑な年金制度になっていった歴史などに触れ、最終的に今後年金はどうあるべきか、という議論になりました。

テレビ局側の意向により「難しい制度の話はしない」ということだったので深入りはしませんでした。今後、老後は自助努力で行くのか、それとも国が補償していくのかの議論をもっとすべきだ、という提言ができたのではないのでしょうか。

本番を終えた北村は、ほっと一息。

本番後は、関口宏さん、えなりさん、根本さん、柘田アナウンサーが出席される反省会という名目の打ち上げがありました。

北村は、用意された缶ビールをぐびぐび飲み、様々な爆弾発言をしていました！

(内容が過激で、ここでは書けません！)

そして、ほろ酔い気分になった北村は夢の4ショットを！

なんと、この4ショット、根本さんのブログにもアップされていました。



うれしい気持ちを隠し、冷静さを見せている北村

最後に・・・TBSを出た北村は、赤坂の町に消えていきました。(ノンフィクションです)